

日本教育メディア学会  
**学 会 通 信** 第 25 号

学会ホームページ [URL://www.soc.nii.ac.jp/jaems/](http://www.soc.nii.ac.jp/jaems/)  
2002 年 5 月 25 日発行

事務局  
〒184-8501  
東京都小金井市貫井北町 4-1-1  
東京学芸大学教育学研究室内  
電話:042-329-7344  
E-mail:shijaems@u-gakugei.ac.jp

## 日本教育メディア学会第 9 回大会の開催校をお引き受けして

桐蔭横浜大学学長 鷓川 昇

21 世紀は情報伝達におけるマルチメディアの時代と言われます。教育に新しい情報伝達技術をどのように取り入れ、教育の効率化を図るかは、私たち教育者に課せられた使命です。このような時代の流に先駆けて桐蔭横浜大学では早くからインターネットによる遠隔大学教育の実験に取り組んできました。

日本教育メディア学会におかれては、第 9 回大会を 10 月 13 日(日)・14 日(月)の 2 日間、横浜の地で開催する希望をお持ちとうかがっております。明治維新に文明開化の先端を切って西欧に門を開いた横浜開港から数えて 140 年、情報化時代の維新ともいえる 2002 年に学会を引き受けさせていただくことにいたしました。

高度通信技術としてのデジタル化、IT 化が進行するとともに放送と通信とが融合し、教育におけるメディア環境が大きく変わってまいりました。ブロードバンドのインターネットを使った放送も実用化の段階に入りつつあります。そして放送が送りっ放しではなく、双方向通信へ変身しようとしています。一方、2002 年度から新指導要領の施行にともない、総合的学習や情報科が教育内容の中に入ってきます。放送利用の総合学習が各地で実践され成果を挙げつつあります。また、放送番組とデジタルチップとの融合による新しい学習の模索が始まっています。衛星通信を利用した大学間の授業交換も盛んになってきました。こうした実践に根ざした実りある議論が深められることを期待しております。

大学キャンパスは横浜市郊外の緑豊かな地にあり、丹沢山系を西に南には湘南の海も近い自然に恵まれた環境の中にあります。本学園は進学や体育に文武両道に優れた高等学校および新しく中学高等学校を一貫する中等教育学校を発足させました。大学も先端医用工学センターを中心に医用工学の研究に取り組んでいます。またロースクールの構想をも推進し内容は充実しています。秋のひと時を研究発表に、パネルディスカッションに、ポスターセッションにじっくりと議論を深め、これからの日本の教育およびメディア教育のあり方を探って頂きたいと思っております。

また大学には明治の初めに建築された横浜陪審員法廷が移築され、法学の博物館となっています。この中にはドイツ法学の基礎を築いたサビーニの文献も所蔵されています。学会の合間にぜひご覧ください。また鎌倉や箱根も近くにありますので足を延ばされたら如何でしょうか。

なお大会準備委員会事務局長として赤堀正宜教授が準備を進めています。皆様のご来駕をお待ち申し上げる次第です。

## 第9回日本教育メディア学会年次大会プログラムの概要

会 期：2002年（平成14年）10月13日（日）、14日（月）

会 場：[桐蔭横浜大学](#)

〒870-0833 横浜市青葉区鉄町1614

（電話 045-972-5881）

（小田急線柿生駅から小田急、東急バスで桐蔭学園行き、または桐蔭学園前下車）

（田園都市線市ヶ尾駅から柿生行きで桐蔭学園前または青葉台駅から桐蔭学園行き）

[大学案内の地図](#)をご参照ください。

日 程：

10月13日（日）

- |               |                                              |
|---------------|----------------------------------------------|
| 9時00分～        | ：受付開始                                        |
| 10時00分～12時00分 | ：自由研究発表、ポスターセッション                            |
| 12時00分～12時45分 | ：昼食、研究委員会会合                                  |
| 12時50分～14時50分 | ：課題研究Ⅰ「教育メディアの選択と可能性」<br>：課題研究Ⅱ「基礎学力と教育メディア」 |
| 15時00分～17時00分 | ：シンポジウムⅠ「電子情報技術による遠隔大学教育の将来」（公開）             |
| 17時00分        | ：移動・見学（メモリアルアカデミウム）                          |
| 18時30分～       | ：懇親会（会場：青葉台フォーラム）                            |

10月14日（月）

- |               |                                                                        |
|---------------|------------------------------------------------------------------------|
| 9時00分～        | ：受付開始                                                                  |
| 9時30分～11時30分  | ：自由研究発表、ポスターセッション                                                      |
| 11時30分～12時30分 | ：総会                                                                    |
| 12時30分～13時20分 | ：昼食                                                                    |
| 13時20分～14時50分 | ：シンポジウムⅡ「国際理解教育とメディアの役割」                                               |
| 15時00分～17時00分 | ：課題研究Ⅲ「ITと、教育、言語、人間をめぐる諸問題」<br>：課題研究Ⅳ「放送と通信の融合等による新たな情報環境における教育の展望と課題」 |

なお、自由研究発表は、ポスターセッション及び作品展示と同じ「一般研究発表」です。これら3者のうち、1つのみ発表等申込できます。また、「課題研究」への発表申し込みは、これら3者（一般研究発表）とは別に1件申し込むことができます。

ただし、発表申し込み期限の平成14年7月1日（月）現在で、発表の登壇者（ポスターセッション、作品展示では、それらの内容の説明者あるいは解説者）は、本学会の会員でなければなりません。

会員は、同封の「日本教育メディア学会第9回大会一般研究発表申込票」では、自由研究発表、ポスターセッション、あるいは作品展示のうち、いずれか1つを、お選びください。また、課題研究発表は、「日本教育メディア学会第9回大会課題研究発表申込票」で、課題研究番号を明記の上、お申し込みください。

なおまた、自由研究発表（原稿は2ページ）のうち、大会事務局が適当と考えたものは、該当者等とご相談の上で、「課題研究」（原稿は2ページ）に移行させていただくことがあります。

## ポスターセッション

時間を十分に取っ関心をお持ちの方とじっくりと議論を進めていただきたいと思います。

たて2 m、横1 mのポスターに研究の成果をおまとめください。

なお、発表論文集にも、概要をお書きいただきます。(原稿は、2 ページ)

ポスターセッション中は、ご自分のポスターの所に待機していただき、ご説明をお願いいたします。

## 作品展示

先生方がお作りになった、教材や児童・生徒および学生の成果物としての作品(ビデオ、CD-ROM、WEB 作品など)を展示することによって、成果を発表いただき、情報交流を図りたいと企画しました。

なお、展示する作品の概要を発表論文集にお書きいただきます(原稿は、2 ページ)

自由研究あるいはポスターセッションと重なってお申し込みいただいても結構です。

課題研究発表、自由研究発表、ポスターセッション、作品展示等の発表申込締切日とその後の連絡スケジュールについて

- ・ 発表の申し込みの締切日を7月1日(月)とします。  
本「学会通信」に同封した研究発表申込票を使ってお申し込みください。  
できるだけ郵送かファックスをお願いいたします。
- ・ 「学会通信第26号」(9月初旬発行予定)で、大会第2報をお知らせいたします。
- ・ 大会プログラムの印刷が出来しだい、大会準備事務局から全会員に、プログラムを郵送いたします。
- ・ 大会準備事務局から、研究発表を申し込まれた方々と課題研究やシンポジュームの登壇者の方々へ、発表論文集の原稿の提出をお願いします。提出期限を8月31日(土)と致します。

## 宿泊のご案内

宿泊は、以下のホテルを確保いたしております。

これらのホテルは、理事会、懇親会が開催されるホテルと交通の便を考えて、すべて小田急線の駅に設置されたホテルです。交通も至便です。客室に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

青葉台フォーラム 045-985-2109(担当 橋本)(理事会、各種委員会開催)

小田急ホテルセンチュリー相模大野 042-767-1111(代)(担当土屋、鈴木)

ホテルモリノ 044-953-5111(代)(担当松原)

シングル: 1泊10,000円(通常11,000円のところ)(朝食付き、奉仕料、消費税込み)

上記3つのホテルにつきましては、「日本教育メディア学会に参加」と伝えていただきますと、10月12日、13日、の期間中上記料金で宿泊いただけます。

ホテルに直接お申し込みください。

## 理事会、編集委員会、

会場: 青葉台フォーラム(部屋はプログラムでご案内いたします)

・ 編集委員会: 平成14年10月12日(土)午後3時から5時

・ 理事会: 平成14年10月12日(土)午後6時から8時

## 懇親会

場所: 青葉台フォーラム(会場はプログラムでご案内いたします。)

平成14年10月13日(日) 午後6時から8時頃まで

## 大会準備委員会事務局

委員長兼事務局長: 赤堀正宜(桐蔭横浜大学 教授)

副委員長兼事務局長: 関根詮明(桐蔭横浜大学 助教授)

事務局: 角替弘規(桐蔭横浜大学 講師)

〒225-8502

横浜市青葉区鉄町1614 桐蔭横浜大学内

日本教育メディア学会第9回大会準備事務局

電話: 045-974-5075(赤堀研究室直通 Tel/Fax)、045-974-5087(角替研究室 Tel/Fax)

電子メールアドレス: [akahori@cc.toin.ac.jp](mailto:akahori@cc.toin.ac.jp)

[tsunogae@cc.toin.ac.jp](mailto:tsunogae@cc.toin.ac.jp)

## <年次大会参加予定者へのご案内>

1. 受付  
(1) 受付場所 法学部棟1階玄関ホール  
(2) 受付時刻 午前9時より(年次大会両日とも)  
(3) 大会参加費 正会員 5,000円、(事前振込みの場合。当日は、参加5,500円)  
(できる限り事前に、同封の「郵便振替」用紙による振込みをお願いします)  
学生会員 3,000円(学生会員は学部生に限ります)  
臨時会員 3,000円  
なお、上記いずれも論文集1冊分の代金を含みます。  
(4) 論文集代のみ 1冊 2,500円(送料は別途500円)  
(5) 懇親会費 6,000円  
(6) 学会費 学会事務局から担当者が参ります。学会費未納の方々は、当日受付にてお支払いください。  
(7) 参加章 受付を済まされた方には参加章をお渡しします。会期中は必ずお付けください。
2. 理事会  
前日(10月12日)17時00分より青葉台フォーラムで開催いたします。会場などについては別途連絡させていただきます。
3. 総会  
第2日(10月14日)11時30分より法学部棟4階大講義室で開催いたしますので、全会員の皆様のご出席をお願いいたします。
4. 懇親会  
第1日(10月13日)18時30分より、青葉台フォーラムにて開催いたします。多数のご参加をお待ちしています。
5. 派遣依頼状  
学会参加に派遣依頼状の必要な方は、申し込み用紙の所定の欄にご記入の上、100円を参加費に加えて、振り込んでください。
6. 休憩室  
大会期間中の休憩室は、法学部等棟4階411号教室412号教室と413教室に設置しています。お飲み物の準備をいたしておりますのでご利用ください。
7. クローク  
お荷物は、クローク(法学部棟4階415教室)でお預かりいたします。お預かり時間は、両日とも8時30分~17時30分までとさせていただきます。ただし、貴重品のお預かりはできません。
8. 展示場  
書籍展示コーナーを4階414教室に、機器展示コーナーを2ホールに準備いたします。
9. 昼食  
弁当を予約注文してください。大学の学生食堂は学会大会中の開業はいたしていません。また、大学周辺には飲食店があまりありません。弁当の予約申し込みは、「大会参加票」の該当箇所を記入して、お申し込みください。予約された方には11時30分から12時30分の間、法学部棟4階416号教室にてお弁当をお渡しいたします。準備の都合上、事前予約のない方への販売はできませんのでご了承ください(申込締切日は、平成14年7月31日(水)です)。

#### 10. 大会本部

法学部棟3階教職員談話室を本部とします。大会期間中の本部連絡は、大会事務局にお願いいたします。発表取り消しなど、緊急のご用件の際にご利用ください。会場での呼び出しは原則として、いたしません。伝言板を用意いたしますので、連絡・呼び出しなどにご利用ください。お済になりました伝言用紙は直ちに  
おとりはずしてください。

#### 11. 送金・連絡問合せ関係

大会をお世話させていただきます本学は規模も小さく、また人手もあまりありませんので、連絡等についてはできるだけ、ファックスやメールでお願いいたします。

- 大会への参加お申し込みは、同封の「日本教育メディア学会第9回大会参加申込票」により、参加者お一人1枚で申し込んでください。必要に応じてコピーしてお使いください。
- 大会への参加お申し込みは、郵送のみにて受付けます。以下の大会事務局までお願いいたします。

#### 日本教育メディア学会第9回大会実行委員会事務局

〒225-8502  
神奈川県横浜市青葉区鉄町1614 桐蔭横浜大学内  
日本教育メディア学会第9回大会実行委員会事務局  
電話：045-974-5075(赤堀直通 Fax/Tel)、 045-974-5087(角替直通 Fax/Tel)

- 申込締切は7月31日(水)です。
- 本年次大会の送金は、同封の「郵便振替」用紙で、お願いします。くれぐれもお忘れなく。なお、送金先は、同封の「郵便振替」用紙に記されています。事前にお払い込みください。  
(注) 本年次大会の郵便振替の口座番号、名称は、以下のとおりです。  
[口座番号] 00260-8-34289 [口座名称] 第9回日本教育メディア学会大会  
横浜すすき野郵便局

#### シンポジウム及び課題研究「設定の趣旨」

シンポジウムⅠ 「電子情報技術による遠隔大学教育の将来」(公開)  
コーディネータ 赤堀正宜(桐蔭横浜大学)

通信衛星やインターネットなどデジタル技術の進歩により新しいメディア環境で、国境を超えた国際的な大学教育が可能になってきました。新しい電子メディアを利用した大学教育は情報の国際的共有ばかりなく相互に国際理解を深め、協力して科学の発達を行うことができます

シンポジウムⅡ 「国際理解教育とメディアの役割」  
コーディネータ 小笠原喜康(日本大学)

日本を描いた外国の映画を見ると、必ずといってよいほど違和感を覚えるものである。映像は、驚くほど正直に制作する人の見方を写し出す。人々の往来がますます国際化していくこれからの世界、教育メディアは子どもたちにどのような役割を果たしていくべきか。このシンポジウムでは、教科書・テレビ・インターネットという様々なメディアが国際理解教育に果たす役割を前向きにかつ批判的に考えたい。

## 課題研究 I

### 「教育メディアの選択と可能性」

コーディネータ 市川昌（江戸川大学）

教育メディア研究の課題は、現代の学習者、学習課題の多様化のなかで、状況の変化に対応しきれず苦慮していることにある。技術革新のなかでメディアの高度化は教育現場の対応力を超え、多様な学習者に教育目標を達成するための教材評価を曖昧にしてきた。混迷のなかで具体的に、効率よく学習を展開するための教材選択が今ほど重要になってきた時代はない。この課題研究ではデジタル時代を迎え技術的に多様化するメディア特性と可能性を、21世紀の人間形成の課題と教材選択についてマルチメディアとソフト開発、生産学習と放送教育、海外動向と調査研究などから検討してみたい。

## 課題研究 II

### 「基礎学力と教育メディア」

コーディネータ 堀江固功（江戸川大学）

本年度から、ゆとりある教育を目指して、土曜日の原則休暇、主要教科の内容・配当時間の削減、総合学習の時間の特設など、生きる力・新学力の育成のための新しい学習指導要領が、小学校と中学校でスタートした。その途端、基礎学力の低下の恐れが、各界から指摘されている。ここでは改めて、学力とは何か、生きる力に役立つ学力とは、また、教育メディアはこれまで基礎学力の養成にいかなる貢献をしてきたのか、また、教育メディアに期待できる学力は何かなど、学力とメディアの関係について議論する。

## 課題研究 III

### 「ITと、教育、言語、人間をめぐる諸問題」

コーディネータ 佐賀啓男（メディア教育開発センター）

インターネットを始めとする情報技術（IT）が社会と教育機関に広く浸透しており、その流れは止まらないように見える。そこには、学習をより豊かに有意義にする契機も含まれると同時に、人間の言語使用や日常生活に、われわれが望まないものも含む様々な影響が生じよう。そのような現象に、教育実践、実証的研究、哲学的吟味などのアプローチで取り組み、そこから、いくつかの考察に値する問題や仮説を得ることをめざしたい。

## 課題研究 IV

### 「放送と通信の融合等による新たな情報環境における教育の展望と課題」

コーディネータ 篠原文陽児（東京学芸大学）

高度情報通信社会のインフラストラクチャーともいえるネットワーク機器の普及や、豊富なデジタル教材の開発と蓄積及び流通と活用などの施策に支えられて、放送と通信の融合が現実のものとなりつつある。法的な整備も進んでいる。インターネット、マルチメディアなどに加え、PDA、デジタルカメラ、液晶プロジェクターなど周辺機器も、学校や生涯学習機関等への導入が急がれ、コンテンツの充実とあいまって、これらの活用が求められている。新たな情報メディアは、双方向（インタラクティブ）を特徴の一つとする。こうした新しい情報環境を生かした近未来の教育は、どのような内容、方法の変化を伴うか、伴わなければならないかなど、議論したい。

## 坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞候補論文等推薦依頼

坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞（坂元賞）の候補論文等の推薦を受け付けています。昨年度（平成13年度）に刊行された本学会（1）学会誌（「教育メディア研究」Vol.8、No.1及びNo.2）（2）第8回年次大会（大分大会）論文集および（3）研究会論集に掲載等されている論文等から、下記の要領にしたがって、期日までにご推薦ください。本学会会員であれば、どなたでも、ご応募できます。

### < 坂元賞推薦要領 >

#### （1）推薦書類

推薦する論文名、論文執筆者名、掲載誌名と巻・号及びページを明記し、推薦者の氏名・所属・連絡先及び400字以内の推薦理由書

#### （2）推薦書類郵送先

184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1  
東京学芸大学教育学研究室内  
日本教育メディア学会事務局

#### （3）推薦締め切り 平成14年6月30日（日）

### 坂元彦太郎記念教育メディア研究奨励賞規定（抜粋）

毎年、学会員が発表した教育メディアに関する優れた研究論文等1件に対して、原則として10万円が授与される。

候補論文等は、前年度の学会誌「教育メディア研究」、大会論文集及び研究会論文の中から学会員が推薦する。

共同執筆論文の場合は、学会員が筆頭執筆者であることが必要である。

推薦は、候補論文に執筆者並びに推薦者の氏名・所属・連絡先及び推薦の理由等を添えて提出して行われる。

推薦締め切りは、毎年6月末日で、選考は理事会から委嘱を受けた若干名の会員による坂元賞選考委員会が行い、結果を理事会に報告する。

理事会は、選考委員会の報告に基づいて受賞者を決定し、年次大会時の総会に報告する。

### 事務局からのお願い

平成14年度までの会費を未納の方は、下記郵便振替口座にお振込みくださいますように、お願いいたします。

#### 日本教育メディア学会 事務局

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町 4-1-1

東京学芸大学教育学研究室内

電話/Fax 042-329-7344

学会ホームページ URL

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>

E-メール

[shijaems@u-gakugei.ac.jp](mailto:shijaems@u-gakugei.ac.jp)

郵便振替口座 00130-4-103021